



2016.5.22 教会美化とBBQ

イエスの御心

助任司祭 楊成源神父

6月はイエスの御心の月と言われていますので、私たちはイエスの御心に特別な敬意を示す必要があると思います。

1675年6月16日に、聖女マルガリタ・マリア・アラコックが修道院でご聖体を礼拝していた時、イエスはご自分の、火のように燃えているような心を彼女に顕示されました。ご聖体の祝日(キリストの聖体)後の金曜日を、御心を礼拝する特別な祝日として定めるようにお命じになりました。

イエスが御心を示される目的は、人々の間にある冷淡な心を退けて、イエス御自身の愛に倣って、人々の間に愛の種をまくことにあります。それゆえ、人類に対する神の愛の象徴として、イエスの御心が示されています。イエスは私たちを愛されたために、十字架に釘付けにされました。そして、十字架上でなくなられた時、一人の兵士が槍でイエスの脇腹を突き刺しました。すると、すぐに、脇腹から血と水が流れ出しました。この血と水は私たちの霊を養う聖体の象徴になりますし、私たちに對する愛の印なのです。

イエスはこのように私たちを愛されますが、私たちは彼に、冷淡さと無情な心を示しています。「他人は救ったのに、自分は救えない。十字架から降りるがいい。そうすれば、信じてやろう」(マタイ27・42)と、当時のユダヤ人はイエスを嘲笑しました。同じように、今の世でも、イエス・キリストを否定する人がたくさんいます。さらに、神の愛も否定しています。キリスト信者である私たちも神に背いたことがあると

(2ページに続く)

平日のミサ時刻：

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時
第3土曜日 午前10時30分 子供のミサ(マリア館)
火曜日 午後7時
金曜日 午前10時 初金曜日 午後7時

主日のミサ時刻：

土曜日 午後5時 (ミサ後、聖体礼拝)
日曜日 午前8時・9時30分・午後6時
Sunday Mass in English 9:30 am
(in the Marian Hall)
ベトナム語のミサ 第4日曜日 午後3時30分

(2ページからの続き)

思います。私たちが罪を犯した時、私達は、イエスの脇腹を槍で突き刺した兵士と同じように、イエスの御心を突き刺しています。「嘲りに心を打ち砕かれ、私は無力になりました。望んでいた同情は得られず、慰めてくれる人も見出せません」(詩編 69・21)。それゆえ、イエスの御心が顕示された時、御心の周囲は荊の棘で満たされています。これはイエス・キリストの憂慮の印です。したがって、イエスの御心の月に当たる6月に、私たちは、イエス・キリストの御心に特別の敬意を捧げましょう。

教会学校・潮干狩り

教会学校 伊藤リーダー (6月5日)

梅雨入りした翌日、朝からあいにくのお天気でしたが、9時30分のミサ後、総勢28名で知多半島へ潮干狩りに行きました。リーダーと保護者の方が運転する車5台に分かれ、目的地に着



頃には運よく雨が上がり、暑くも寒くもなく丁度いい気温の中、潮干狩りを楽しむことができました。大人も子供も思いのほか初めての人が多く、しかも今年是不漁だということですが、潮干狩りの達人・安井リーダーの指導のもと、たくさんのアサリを採ることができました。例年よりは小粒でしたが、晩御飯のおかずには十分だったと思います。夕方には無事に南山教会に



戻ってくることができました。教会学校では、このような自然の中での活動を通して、創造主である神様を子供たちが少しでも感じてくれるように、毎年の行事としています。また夏には、恒例のキャンプも行います。



将来の教会や社会を背負っていく子供たちが、キャンプや遠足などの行事を無事に過ごし、神様の示して下さった道を歩んで行くことができますように、これからも皆様のお祈りをお願い致します。

教会の美化、お疲れ様でした！



使徒信条

カトリック教会のカテキズムに基づく解説

ボグスワフ・ノヴァク著



出版物紹介

イエス・キリストの模範と教えに従って生きる決心をしていても、忙しい毎日の中で、常にいろいろな情報に攻撃され、様々な招きの対象となっている私たちは、自分の基本的な選択を忘れて、流される恐れ、結果的に、望ましくない方向に向かって歩む恐れがあると思います。

このような恐れを避けて、心の真の望みに従って、本当に正しい目的に向かって歩むためには、毎日のみことばの読書や祈り、また、秘跡にあずかることによってイエス・キリストとの交わりを深めること、さらに、小教区や他のキリスト教の共同体の生活に参加することによって、同じ道を歩もうとしている他のキリスト者との交流を深めることは不可欠です。と同時に、キリストの教えの理解を深めながら、常に、信仰の基礎に戻る必要もあると思います。

信仰の基礎に、より簡単に戻るために、また、個人のみことばの読書やみことばに基づく個人の祈りと黙想の基準にするために、私たちの信仰の基本を短くまとめている使徒信条をカトリック教会のカテキズムに基づいて、解説して、この小冊子にまとめてみました。どうぞ、ご活用ください。（小冊子の「はじめに」より）

「使徒信条・カトリック教会のカテキズムに基づく解説」

ボグスワフ・ノヴァク著

カトリック南山教会売店にて、6月18日より、発売予定

カトリック教会のカテキズムより

2598 祈りの劇的な性格は、人となってわたしたち

ちとともにおられるみことばにおいて完全に明らかにされます。キリストの祈りを、その証人たちが福音書の中で告げていることを通して理解したいならば、燃える柴に近づくかのように、聖なる主イエスに近づかなければなりません。すなわち、まず祈りの中でイエスご自身を観想した上で、わたしたちに祈り方を教えようとしておられる主のことばに耳を傾けるならば、主がどのようにわたしたちの祈りを聞き入れてくださるかを知ることができるでしょう。

イエスは祈られる

2599 おとめマリアの子となられた神の御子は、人間の心で祈ることも学ばれました。全能の神が行われるすべての「偉大なこと」を心に納めて思いめぐらしておられたご自分の母親から、祈りのことばを学ばれます。またナザレの会堂や神殿では、ご自分の民の祈りのことばや唱え方に基づいて祈られます。しかしその祈りは、ご自身が十二歳のときにいわれた「わたしが自分の父の家にいるのは当たり前だ」（ルカ2,49）ということばから推測させておられるように、より深い源からほとばしり出るものだったのです。ここで、時が満ちたときの新しい祈りが示され始めます。それは、御父がご自分の子らに望んでおられた子供としての祈りであり、御ひとり子はその人性をもって、人々とともに、人々のためにこの祈りを唱え続けられるのです。

主の祈り(3)

主任司祭 B・ノヴァク神父

5. 「わたしたちの負い目を赦してください、わたしたちも自分に負い目のある人を赦しましたように。」

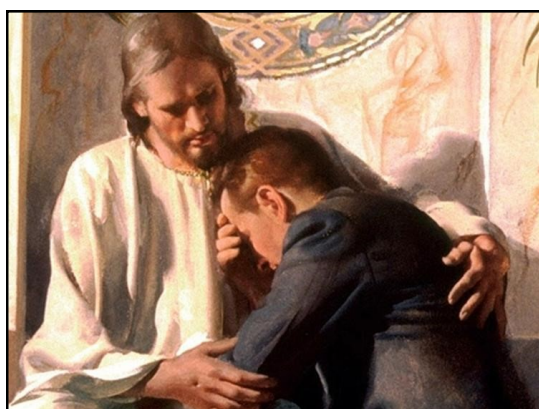
イエス・キリストは、最も大事な掟として、「愛の掟」を与えてくださいましたし、ご自分の生き方を以て、私たちが見倣うべき、愛に生きる模範を示してくださいました。愛は、イエスの教えの中心であり、父である神の御心に適ったイエスの人生の最も大切な特徴でもあるから、神が人間から一番求めておられるのは、愛に生きることであると云えると思います。それにもかかわらず、人間に対する神の最も大きな望みを表す「主の祈り」の中には「愛に生きる事ができますように」という願いがありません。

確かに「愛」という言葉が、「主の祈り」の中には、出てきませんが、愛こそが、「主の祈り」の七つの願いの「心」であり、この七つの賜物を父である神の手から受ける時は、実際に

愛の恵みの具体的な形を受けるということなのです。おそらく、それは、自分に負い目のある人をゆるすこと、つまり、私たちに對して、何らかの悪事を行って、私たちに心の傷を負わせた人をゆるすことの中に、最もはつきりに見えるのではないかと思います。

私たちは、誰かに苦しめられただならば、同じような苦しい体験を再びすることがないよう安心感を回復して、苦しみを和らげるために、何らかの手段をもつて相手を傷つけて、自分の方が大きな力があることを示すことによつて、相手が二度と私たちに攻撃しないように復讐することがあります。誰かに苦しめられたことに対するそのような火傷した手を何も考えずにすぐ熱いところから引くことと同じような、全然意識しない反射的なものにもなっているのではないかと思います。けれども、相手をゆるさずに、相手に對してそのような態度を保つことによつて、この人との関係が悪くなるだけではなく、他の人との関係、自分との関係、また、神

との関係にも悪い影響が及ぼされる可能性があります。言ってみれば、自分に負い目のある人をゆるさないことは、愛することを段々と不可能にする「心の癌」のようなものなのです。この病気を癒す唯一の薬とは、相手をゆるすことです。私たちが、また、私たちがのために、何よりも愛に生きることを求めたイエスは、度々、私たちに傷を負わせた相手をゆるすように教えてくださったのは、この世に生きていく内に度々いろいろの人に傷つけられていく私たちが、傷つけられている度に相手をゆるすことによつてのみ、常に愛に生き



自分が負い目のある人をゆるすことは、真の愛の実践です、それが可能になるために、私たちは、愛の源である神と正しい関係に生きることによつて、神から愛の賜物を受けなければなりません。そのために、イエスは、自分に負い目のある人をゆるすことを、神のゆるしを受けることと結びつけます。私たちが、どれほど大きな罪を犯しても、父である神をどれほど深く傷つけても、神は私たちが愛し続けておられるし、私たちが必要としている善を行ってくださいます。これによつて、私たちがゆるしを願う前から、神は、私たちの罪を無条件にゆるしてくださることを示してく

ださいます。けれども、私たちは、罪を犯した後、神のもとに戻り、神と和解し、神との正しい関係に入るために、この無条件のゆるしを受け入れる必要があります。「わたしたちの負い目を赦してください」と願うときに、神が、私たちに対する怒りを抑えることとか、私たちに与えようとすると罰、つまり、復讐行為をあきらめることを求めるのではなく、私たちが心を開いて、神の無条件のゆるしを受けることができるように、神が私たちの心を癒すことを求めるのです。

逆に言えば、私たちは、私たちに負い目のある人をゆるすことができないならば、私たちの心がまだ癒されていないし、私たちがまだ神のゆるしを受け入れずに、和解していないということが分かるのです（マタ18・21、35 参考）。

6 「わたしたちを誘惑に遭わせず、悪い者から救ってください。」

私たちが、神に向かって「私



さい」と願うのは、人間の信仰や愛を試すために、人間に試練を与えるような意味で、人間を誘惑すると思われる神が、そのようなことをやめていただくためだと思う人がいるようです。けれども、非常に大きな勘違いであるこのような考え方は、このように考えている人の神との関係に大きな不信や恐れをもたらし、することによって、この関係の発展を不可能にするか、この関係を段々と薄くしてしまうものなのです。誘惑することは、相手を欺くこと、つまり、悪事を行うことなのです。善そのものである神は、いくら良い目的の

ためといっても、絶対に、悪事を行うことも、それを図ることや、求めることもできないのです。聖ヤコブがはっきり言います。「誘惑に遭うとき、だれも、『神に誘惑されている』と言ってはなりません。神は、悪の誘惑を受けるような方ではなく、また、御自分でも人を誘惑したりなさらないからです」（ヤコ1・13）。

確かに、マタイによる福音書に書かれてあるギリシャ語の文書を文字通りに日本語に直すのと、「私たちが誘惑（試み）に導き入れないでください」ということになりませんが、このように新しい方の意味を表すために、新約聖書のフランス語訳がしているように「わたしたちを誘惑に陥らないように導いてください」という日本語に翻訳することもできます。実際に、神は、人間を誘惑なさらないだけではなく、人間が誘惑に陥らないように、常に人間に、正しい生き方や真の善を教えてください（マタ24・29）、与えられた使命を果すことによって、また何よりも私たちの心の中で、ご自分に対する信仰、信頼と愛を起こすこ

司祭団より

6月5日

各会の活動報告について、一部提出されていない会がありましてので一週間以内にボクダン司祭まで提出をお願いいたします。

司祭休暇について、7月8日頃までフック師の休暇。7月11日～7月25日までボクダン師の夏季休暇です。8月16日から約3か月間ヤン師が休暇を取りま

す。各教会の司祭へ支給するお金の平均化のために司祭生活費を含めた新会計を教区本部が策定

予定です。教会からの教区本部維持費や司祭活動費などの制度に変更が

あります。(添付資料あり)変更後、南山教会の負担が大幅に増える可能性があり、南山教会自体の維持・管理に影響が

及ぶ可能性があり、運営に支障をきたす可能性があるというこ

とで反対意見が多数出ました。

報告・連絡事項
5月15日、城東ブロック会議
(信徒協委員 共通)

7月10日に定例会議を南山教会で行います。9月18日は城東ブロックの集いについての準備

に関して話し合いがあります。7月3日14時の布池教会にて「司祭叙階記念、司祭、修道士

金銀祝の祝い」ミサに、共同祈願を南山教会から出すとともに、侍者を4名派遣します。ミ

サ後祝賀会の準備などを城東ブロックの委員で行います。コー

ヒーとケーキを百名分以上南山教会から用意します。なお、祝

賀会パーティーの司会は、神戸が担当となりました。

5月29日、わだちまつり
チケットをたくさん買っていた

た。稲荷寿司350パックを用意しま

した。売り上げは55,300円(南山教会にて44,750円の売

り上げ、材料費は18,177円)でわだちまつりに寄付をしまし

た。9月25日(日)、城東ブロックの集いについて

南山教会で開催いたします。司教様をお呼びするので200名

以上の来場者が予測されます。城東ブロックの担当だけでは要

員が足りないのので、準備委員会を立ち上げたいと思うとの意見

があり、承認されました。5月15日、インターナショナル

ミサ(運営委員長、マリア会、ヨセフ会)

司教様の司式、参加者はおよそ400名

子供たちと全員で主の祈りを唱える。

今後のために、情報不足であったことを責任者へ申し入れ

た。↓善処するとの回答あり。今年度は、インターナショナル

ミサ側と教会側との情報の伝達等に不備があったので、来年度は善処して行いたいとのこと

です。5月16日～10日間、マリア館の空調設備の新設

(運営委員長他) 工事のための停電、勉強会等の

部屋替え等があった。電線再配備のためのマリア館

中庭の穴掘りに神父様に頑張っていた。三菱電機ビルテクノサービ

スの空調入れ替え工事が滞りなく終了しました。神父様ならびに

運営委員長が工事を手伝ったこと

もあり一〇五〇万(税抜き)で予定より安く抑えることができました。

ガス空調から電気空調に変わりましたのでメンテナンス

性が良くなります。5月22日、教会美化とBBQ

(マリア会 ヨセフ会) 天候も良く、事前作業を適切

に行ったこともあり、当日の作業は予定通り終了しました。B

BQには100名ほど参加者がありました。

現在の保険は教会の中で起きた事故は保証されますが教会から出ると保証がされません。新しい保険は教会の外で行う行事に關しても保証されませんので、各会行事の際にはご検討ください。

詳細は、事務所で確認してください。

審議・相談事項 6月19日信者全体集会

(運営委員長)

添付の書類を参照。↓当日の机の配置、書記の人選も必要、規約への活動団体の記入についての相談

集会の進め方の相談 ↓ 各団体の資料作成についての検討

要望事項の確認 ↓ しおりに入れる

「カトリック南山教会小教区運営委員会規約」の第3条(組織)について、運営委員会に属している各会をわかりやすくするために記載するように検討・整理をして次回運営委員会にて報告します。

先回ご承認をいただいていた第5条の変更については全体集會にて報告します。

ヨセフ会は、会場準備をお願いいたします。書記に關しては

成井さん・戸野部さんが行います。

要望事項に關しては現時点では来ていません。来週までに確認します。

7月24日、救急法講習会の進め方

(ヨセフ会)

今年も例年どおり行うことが承認されました。ミサ終了後にマリア館で赤十字の方に来ていただき行う予定です。

ヨセフ会にて段取りを取るよう確認がされました。

バザー委員会の立ち上げとバザーのテーマについて

(バザー実行委員会)

運営委員会終了後、第1回バザー委員会を開催する予定

別紙にてメンバーを記載します。6月5日午後第1回の実行委員会を行います。来週よりテーマを募集します。

営繕委員会副委員長承認の件、カトリック会館トイレ変更の件

(営繕委員会)

ヨセフ会の丸尾さんが副委員長を引き受けてくれましたので、承認作業を行います。↓承認されました。

カトリック会館の女子トイレの水洗装置不具合のため、1F

を男子トイレ、2Fを女子トイレに変更する件。↓別紙にて説明。老朽化のための修繕に30万円ほどかかるので一時的な処置です。体の不自由な方はマリア館のトイレをるように誘導します。

各会報告

ボーイスカウト

スカウトバザーを6月12日(日)10時30分～13時30分に行います。ご自由に参加ください。※スカウトバザー商品のご寄付をいただきお礼申し上げます。

マリア会

わだちまつりでは今年もいなりずしを手作りしました。お手伝いくださった皆様ありがとうございました。6月3日初金ミサ後例会が行われ、例会後28人ほどの2グループに分かれて2人のファシリテーター(司会)のもと、分かち合いを行いました。今後、この参加者の中からファシリテーター(司会)を出して、それぞれの班で、分かち合いを行う予定です。

中高生会

夏合宿

日時…7月29日(金)～7月31日(日)

内容…東京方面7教会巡礼(吉祥

寺教会、イグナチオ教会など)宿泊は聖靈修道院(小金井市)費用…二千元 ※申し込み用紙は事務所にあります。

営繕委員会
6月11日(土)10時～12時 大規模改修プロジェクトの初会合を行います。

5月28日(土) 香部屋の蛍光灯8本交換しました。

典礼委員会

5月8日 アリア祭

15日 14時インターナショナルミサ

28日 名古屋教区典礼委員会(新内出席)

6月12日 典礼奉仕者全体集会 典礼委員会定例会議

26日 侍者集会

教会学校
6月5日(日)ミサ後、潮干狩り

7月22日(金)～24日(日)夏季キャンプ

*近々参加者を募集致します。

レジオ・マリエ
6月18日(土)13時45分～恵方町教会にて、松浦司教様による黙想会*どなたでもご参加できます。

次回は7月3日

南山句会

平成二十八年五月十一日



母の日に真白き百合の花届く

とく子

百年を語る茶杓の初風炉かな

公子

弥撒終へて心豊かに新茶くむ

美智子

夏雲や鈴鹿の峰の藍々と

一藤

ジャズの音にスイングやまぬ森若葉

豊子

薫風や聖歌と和して鳥の声

せつ子

いつのまに勢ひましぬ五月鯉

真喜子

武者幟島に源氏の裔生れて

義子

毎月第二水曜日午後一時半

マリア館二階集會室

信者の消息

受洗

おめでとうございます

- 5/4 マリア・テレサ 福山 羽奈 (ふくやま はな)
5/7 ソフィア 平山 瑛美梨 (ひらやま えみり)

結婚

♡ お幸せに ♡

- 5/1 鈴木 康将 (すずき やすまさ) ♡ クララ 今井 瑞希 (いまい みずき) (南山教会)
5/8 ミカエル 篠田 世豊 (しのだ せいほう) (南山教会) ♡
セシリア トラン・ホアン・タン・タオ (南山教会)

帰天

神の栄光にあずかれますように

- 5/15 マリア 貫井 清子(100歳) (ぬくい きよこ)
5/25 アシジのフランシスコ 工藤 勲 (くどう いさお) (72歳)
5/31 カタリナ 山口 ヒサエ(93歳) (やまぐち ひさえ)

転出

いつまでもお元気で

マキシミリアノ・マリア・コルベ (こんどう まさなり) 近藤 祐成(平針教会)

転入

ようこそ

テレジア 竹内 依子(五反城教会) (たけうち よりこ)
ミカエル 竹内 宏樹(五反城教会) (たけうち ひろき)
アグネス 竹内 志依(五反城教会) (たけうち しおり)

教会維持費

5月は1,683,991円の維持費が納められました。有難うございました。

教会の維持・運営・宣教活動は、教会信者全員が毎月納める維持費によってまかなわれますので、よろしくお願ひします。

2016年6月・7月行事予定表

	教会典歴	南山教会行事	各会活動	教区行事・その他
6月	聖心の月 3(金)イエスのみ心 24(金)洗者聖ヨハネの誕生 29(水)聖ペトロ・パウロ使徒	12(日)典礼奉仕者全体集会 19(日)信者全体集会 29(水)楊師霊名の祝日	3(金)マリア会例会(懇談会) 5(日)11:00 運営委員会 5(日)教会学校潮干狩り 12(日)典礼委員会 12(日)スカウトバザー 12(日)ヨセフ会班長会 18(土)10:30子ども部屋 25(土)要約筆記付きミサ 26(日)侍者集会	23(木)司祭の月集 26(日)聖ペトロ聖座への献金
7月		24(日)救急法講習会	1(金)マリア会例会(懇談会) 3(日)11:00 運営委員会 10(日)典礼委員会 10(日)ヨセフ会班長会 16(土)10:30子ども部屋 17(日)教会学校終業式 22(金)~24(日)教会学校キャンプ 23(土)要約筆記付きミサ 24(日)中高生会終業式	3(日)司教叙階・金銀祝 10(日)城東ブロック会議(南山) 21(木)司祭の月集 (日)障害者の集い